

熊本県で高病原性鳥インフルエンザ発生 最大限の嚴重警戒を!!

- ▶ **農場概要** 所在地：熊本県 玉名郡南関町
 飼養状況：採卵鶏 約10万羽
- ▶ **経緯**

- (1) 12月26日、熊本県は、死亡採卵鶏増加の通報を受けて立入検査を実施
- (2) インフルエンザ簡易検査 ⇒ **陽性** 確認
- (3) インフルエンザ遺伝子検査 ⇒ **H5亜型**
(高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜決定)

これまでの発生状況

- 1 例目：青森県青森市（11/28）あひる（フランス鴨）18,360羽
- 2 例目：新潟県関川村（11/29）採卵鶏 314,000羽
- 3 例目：新潟県上越市（11/30）採卵鶏 236,000羽
- 4 例目：青森県青森市（12/2）あひる（フランス鴨）4,720羽
- 5 例目：北海道清水町（12/16）採卵鶏 280,000羽
- 6 例目：宮崎県川南町（12/19）肉用鶏 122,000羽

侵入防止対策の徹底をお願いします！！

- ▶ 特に、**小型の野生動物**が家きん舎の外部から**侵入**しうる経路がないか詳細に緊急点検。
- ▶ 家きん舎に入る場合、**衣服や靴の交換**や**農場出入口**も含め十分な**消毒**。
- ▶ 家きん舎が、**池など野鳥生息地**の近くにある場合、特に警戒を。

国内における高病原性鳥インフルエンザの発生・検出状況(平成28年11月以降)

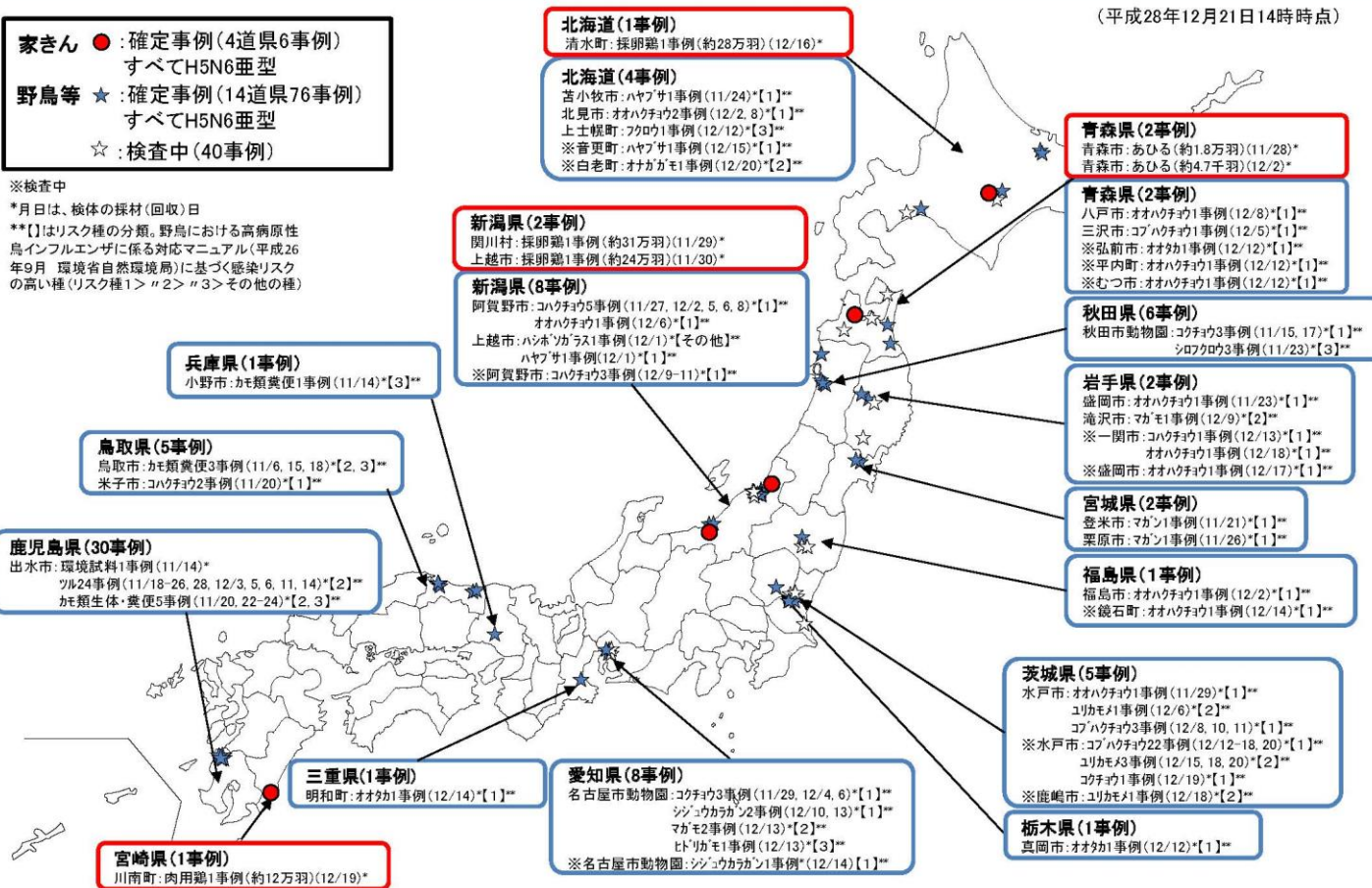
(平成28年12月21日14時時点)

家きん ● : 確定事例(4道県6事例)
すべてH5N6亜型

野鳥等 ☆ : 確定事例(14道県76事例)
すべてH5N6亜型

☆ : 検査中(40事例)

※検査中
*月日は、検体の採材(回収)日
**[]はリスク種の種類。野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応マニュアル(平成26年9月 環境省自然環境局)に基づく感染リスクの高い種(リスク種1> "2> "3> その他の種)



※野鳥における高病原性鳥インフルエンザ確定件数(飼育鳥類、糞便、水検体含む)
2016年12月26日 21:30現在 15道府県 117件

韓国における高病原性鳥インフルエンザ(H5N6亜型)の状況


家きんでの確認件数: 231件

あひる	111件
鶏	117件
うずら等	3件

(殺処分羽数: 399農場2,021万9千羽)

※2016年11月以降 2016年12月21日時点

これから年末・年始、春節(1月28日)と海外との人や物の交流が盛んになります。例年以上の警戒をお願いします。

パソコンやスマートフォンなどから... 
キーワード: 「鳥インフルエンザ」& 「農水省」と検索すると詳細な情報が確認できます。飼養者の皆様ご自身でもご確認ください。

年末年始も異状を認めた場合は、すぐに家畜保健衛生所へ連絡してください

0574-25-3111

●閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

つながらない場合は **0574-25-3484** へ

土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けます

中農家畜保健衛生所